

万代中央ふ頭（音楽が紡ぐ港の魅力発信）

徳島県 徳島市
特定非営利活動法人アクア・チッタ / 徳島県

1 社会資本の概要

万代中央ふ頭は、徳島市中心部に近く新町川下流の優れた水辺空間に位置し、東西約500メートルにわたる大規模な倉庫群が立地しています。

約50年ほど前には港湾物流の中心としてにぎわっていましたが、水深が浅く、大型化する船舶を受入れられなくなり、かつての活気を感じさせる倉庫群だけが取り残されていました。



景観に優れた水辺空間を有する万代中央ふ頭

2 取組の背景、取組概要と創意・工夫

徳島市中心部の近くにもかかわらず、人気も少なく近寄りたがたい雰囲気となってしまったこの地域を、水辺の魅力を活かし、ここに人が集い、交流が生まれる「港にぎわい空間」に再生したいとの思いから、新しい水辺のまちづくりへの取組を開始しました。

最初は、何をすればよいのかわかりませんでした。人気の少ないさびれたところでしたので、まずは清掃活動からスタートしました。そして市民の関心を喚起し認知度を向上させるため、水辺を活かしたイベントや水産市「アクア・チッタフェスタ」を開催するとともに、地元の有志たちで構成された万代中央ふ頭にぎわいづくり協議会の「万代中ふ頭に

ぎわいづくり構想」の策定にも参画しました。その後、規制緩和により倉庫を活用したイベントが開催できるようになり、倉庫全体を使った展覧会や手づくり作品を集めたハンドメイドマーケットなど様々なイベントを行い、「新しい水辺のまち」として多くの方々に認知されるようになっていきます。

活動では、メンバーが持つ専門的知識を活かしながら、イベントチラシやSNSデザインの作成、効果的な広報などにより、多くの人々の注目を集めるように努めています。

また、若い世代のメンバーによる青年部も発足し、幅広い世代による活動を行っています。



活動当初から継続して行っている清掃活動



年に1度の大イベント「アクア・チッタフェスタ」



「万代中央ふ頭にぎわいづくり構想」策定のワークショップ

3 活動の成果や波及効果等

活動当初は、港湾区域の規制により倉庫を物流用途以外には使用できませんでしたが、地道な取組を続けた結果、徳島県による既存倉庫群の利活用を図る実証実験を経て、倉庫を店舗やオフィスなどに利用できるよう規制が緩和されました。

現在では、多くの倉庫が様々な用途に転換され、人気のなかった空間が「港にぎわい空間」へ変わってきています。

4 前回受賞時からの活動の発展内容

年に一度のお祭り「アクア・チッタフェスタ」では、今や名物となった、ライブ音楽と打ち上げ花火を同期した「音楽花火」も実施するようになり、平成26年度からは開催日数も増やしています。「音楽花火」は、ライブ演奏をFM放送局から県内一円に放送し、フェスタ会場の万代中央ふ頭だけでなく、広範囲で多くの方々が楽しむことができるようになっています。

平成28年度には、万代中央ふ頭のイメージソング「ミズイロ」を制作しました。現在は、「ミズイロ」を携えて、全国のみなとまちを音楽で紡ぐPR活動を続けています。



アクア・チッタフェスタの名物「音楽花火」イメージソング「ミズイロ」に乗せて

所在地

徳島県 徳島市 万代町

活動主体及び連絡先

特定非営利活動法人アクア・チッタ
(088-679-8001)
HP: <http://aquacitta.com/>

対象となる社会資本

徳島小松島港万代中央地区（万代中央ふ頭）
※管理者：徳島県

喜びの声



受賞者

特定非営利活動法人アクア・チッタ
事務局長 岡部 斗夢

コメント

受賞の喜びをメンバーと共にかみしめています。「手づくり郷土賞グランプリ2017」会場での、みなさんの熱い想いに触れた中でいただけた「グランプリ」の名に恥じないよう、更に頑張っ、メンバーみなで、これからも楽しく活動の場を広げていきたいと思っています。

活動内容

- ・清掃活動
- ・「アクア・チッタフェスタ」の開催
- ・倉庫を活用した各種イベント
- ・イメージソングによるPR活動 など

活動の経緯

- 平成17年 NPO法人設立
- 平成23年 徳島県による「港にぎわい空間創出実証実験」開始
- 第二倉庫 アクア・チッタ開設
- 平成25年 倉庫業以外への規制緩和開始
- 平成28年 イメージソング「ミズイロ」制作

